


<p>企画名</p>	<p>手賀沼 de セーリング子どもヨット乗船体験 (柏 No.1)</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ 問合せ先 楠 富夫 TEL : 090-7835-6755 Email : kusunoki.tomio@gmail.com ホームページ : http://aycabiko.web.fc2.com/</p>
<p>目的</p>	<p>セーリングを体験しながら手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングを通して初歩の帆走技術を習得する。</p>
<p>日時</p>	<p>2019年6月1日(土) 8:00~15:30</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>7:30 AD (アクセスディンギー; 小型ヨット) 搬入、柏市管理2艇を陸路搬入。 8:00 運営スタッフ全員漁協棧橋前集合、役割分担について説明。 ※風速10mの強風のため、大人も子供もADに乗ってもらうことにした。 8:15 役割分担に基づき、各自、準備。 我孫子市管理のAD2艇をみずすまし号にのせて運搬。 8:30 AD4艇の艀装準備、救助艇2艇、みずすまし号出動準備。 8:45 午前の部受付開始、15分の待ち時間の間、運営スタッフがライフジャケットの着装指導。 9:00 午前の部体験乗船開始。 参加者の乗船時間 15分 13:00 午後の部は、更に風が強くなったので、急遽、救助艇に乗船していただいた。 15:00 艇の艀装解除、装備品の整理、棧橋より艇の搬出。 15:30 運営スタッフ全員解散。我孫子市管理AD2艇、みずすまし号に載せて運搬</p>
<p>参加対象</p>	<p>市内居住の小・中学生(参加なし) 保護者。</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加80名(小学生52名、幼児5名、大人23名)、運営スタッフ18名</p>
	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>①わくわくした。 ②斜めになってお水が入ってきそうでドキドキした。 ③カップのポーズが面白かった。 ④思っていた以上に手賀沼の広さに驚きました。 ⑤手賀沼の自然に触れ合えたのが良かった。 ⑥モーターボートでスピードが出ていたので、非常に風が心地よく楽しめました。 ⑦強風でヨットが転覆するかと思った。怖かったけど楽しめました。 ⑧思ったより風の影響でボートが傾いた。 ⑨風が強くてヨットに乗れなかったのは残念だったけれど、ボートで一周できて楽しかった。</p>

<p>企画名</p>	<p>手賀沼 de セーリング子どもヨット乗船体験(柏 No.2)</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ 問合せ先 楠 富夫 TEL : 090-7835-6755 Email : kusunoki.tomio@gmail.com ホームページ : http://aycabiko.web.fc2.com/</p>
<p>目的</p>	<p>セーリングを体験しながら手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングを通して初歩の帆走技術を習得する。</p>
<p>日時</p>	<p>2019年8月10日(土) 9:30~16:30</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>事前準備 AD (アクセスディンギー ; 小型ヨット) 搬入 柏市管理(2艇)陸路搬入、我孫子市管理みずすまし号で搬入 8:00 運営スタッフ漁協棧橋前集合。役割分担について説明 8:45 役割分担に基づき、各自準備。役割分担に基づき、各自準備。 9:00 AD 4艇、シカーラ 2艇艀装準備。 9:15 午前の部受付開始 15分の待ち時間の間、運営スタッフがライフジャケットの装着指導。 9:30 体験乗船開始 参加者の乗船時間…15分 15:30 午後の部も午前と同様のサイクルを繰り返し終了 15:45 艇の艀装解除、装備品の整理。 16:30 我孫子市管理AD 2艇、みずすまし号に載せて運搬、柏市管理(2艇)柏体育館へ陸路返却</p>
<p>参加対象</p>	<p>市内居住の小学生・中学生・保護者。</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加3名(小学生2名、大人1名)、運営スタッフ18名</p>
	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>① 1回目<6. 1>は80名の参加であったが今回<2回目>の応募者は3名のみ(小人*2、大人*1) ② 募集期間が短すぎた(広報発行 毎月1日と15日) 3日掲載 ⇨ チラシ作成 手配り配布 ③ 募集期間 MIN 3週間必要(従来)</p>

<p>企画名</p>	<p>どろんこ田で、手づくり米の稲刈り体験</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 問合せ先 代表 小笠原 智 TEL： 04- 7128-7117 Email： kabukuri-saiko@mbp.nifty.com ホームページ： http://nadogaya-biotope.com/</p>
<p>目的</p>	<p>名戸ヶ谷湧水と、無農薬、有機肥料よる水田ビオトープを保全している中で、手作業による稲刈りを通じて、むかしながらの農作業を体験してもらう。</p>
<p>日時</p>	<p>2019年9月8日（日）9:00～11:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>【会員から稲刈りの作業手順と注意点を説明】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 稲の刈り方（カマの使い方） 2. 稲の束ね方 3. 刈った稲束をはざかけ（天日干し）する 後片づけと、どろんこを水洗いして終了
<p>参加対象</p>	<p>小学生4～6年の子どもと保護者</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 8名（大人2名、小学 6名、） 会員スタッフ 10名（会員 9名、市職員 1名）</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>会員から稲刈りの説明</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>カマで刈り取り うまいぞ</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>泥んこ田んぼで奮闘！</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>稲をはざがけへ運ぶ</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>2枚めの田んぼへ</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>刈り取った稲のはざがけ</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>参加者 大人：初めての参加です。予想以上に田んぼは深く大変でした。 児童：バッタ、カエル、カマキリ、ザリガニなどいろいろな生きものを見つけ 楽しい稲刈りでした。泥んこが深く大変でした。 実施団体：曇り、気温32度、台風15号で天気が危ぶまれましたが、雨が降り前で良かったです。総勢18名の参加者で2枚の田んぼを事故なく無事に刈り終える事が出来ました。休憩時間では、お茶を飲みながら楽しく歓談し、泥まみれでも皆さんやり終えて満足感でした。今年は、暑さもあり市民の参加者が少なかったです。</p>

企画名	大堀川わくわくウォーキング 源流を訪ね流山史跡を巡る-2
実施団体	団体名 大堀川の水辺をきれいにする会 問合せ先 中野 一字 TEL: 090-1208-8680 Email: nakano@road.ocn.ne.jp ホームページ: http://members3.jcom.home.ne.jp/ohorigawa/main/
目的	皆さんに大堀川～流山に親しみを感じて保全に目を向けて頂きたいと企画しました。
日時	2019年9月29日(日) 9:00～13:00
プログラム・概要・ルート等	東武線おおたかの森駅 集合 ～ おおたかの森小中学校 ～ 三輪野公園 ～ 流山市立博物館 ～ 浅間神社 ～ 新選組・近藤勇 陣屋跡 ～ 江戸川河畔散策ロード ～ 一茶双樹記念館 ～ 赤城神社 ～ 流山電鉄平和台駅 解散
参加対象	手賀沼流域の市民
参加人数	一般参加 15名(大人) スタッフ 10名(会員9名、講師1名)



流山博物館



浅間神社



三輪野公園



赤城神社

参加者や実施団体の感想

広報かしわの公募に応じて大勢の皆様にご参加いただきました。昨年、残念ながら台風で中止となった「大堀川の源流を訪ね、流山史跡を巡る」の後編として実施しました。幸いお天気に恵まれ、おおたかの森駅から流山市中心に入り、講師にお願いした博物館の北沢さんに柏と流山を比較しながら貝塚・運河・味噌などを分かりやすく語って戴きました。その後、風情のある家並みを眺めながら浅間神社の富士塚に皆さんで挑戦し新選組の近藤勇の陣屋跡では市民ガイドさんに熱弁をふるって戴きました。一息入れようと上った江戸川散策路は水量も多く堂々と素敵な眺めでした。一茶の定宿の記念館を楽しみ、最後に「赤城山から山が来た」という流山の由来の赤城神社で締めくくりとし無事終了しました。

<p>企画名</p>	<p>大津川上流域の自然と歴史を歩く</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 大津川をきれいにする会 問合せ先 奥石邦夫 TEL：04-7193-1916 Email：koshiishigm@gmail.com ホームページ：http://myzbe2010.web.fc2.com</p>
<p>目的</p>	<p>大津川流域を歩き、豊かな自然の体験と歴史に触れていただく。</p>
<p>日時</p>	<p>2019年10月6日（日）9:30～13:10 曇り時々小雨</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>集合：9:30 東武アーバンパークライン高柳駅東口 行程：高柳駅ーかとうの森ー大津川ー佐津間城址ー渋谷総司資料室ー光明真言道標ー宝泉院ー大津川遊歩道ー花畑ー栗野コミュニティセンター(昼食)ー栗野の森ー鎌ヶ谷市制記念公園ー新鎌ヶ谷駅 解散：13:10 東武アーバンパークライン新鎌ヶ谷駅 曇りで涼しいハイキング日和であったが、時々小雨が降ったので時間を短縮して早めに終了した。</p>
<p>参加対象</p>	<p>手賀沼流域の市民</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 14名（大人） 会員スタッフ 10名（会員9名、外部講師1名）</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>かとうの森（柏市高柳）</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>大津川土手（柏市高柳）</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>渋谷総司資料館（鎌ヶ谷市）</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>宝泉院（鎌ヶ谷市）</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>花の大津川遊歩道（鎌ヶ谷市）</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>鎌ヶ谷市制記念公園</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>参加者：①自然豊かな大津川上流域（谷津・斜面林・里山）を体感でき楽しかった。 ②城址・寺・資料館・鮮魚街道道標など歴史に触れ勉強になった。 実施団体：①曇り時々小雨であったが完歩し、参加者に楽しんでもらえて良かった。 ②自然・歴史豊かな大津川上流域を体験してもらえて良かった。 ③栗野の森が台風による倒木で、遊歩道を歩けず、残念だった。</p>

<p>企画名</p>	<p>キノコ観察会</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 特定非営利活動法人“こんぶくろ池自然の森” 問合せ先 北田賢治 TEL: 04-7132-8800 Email: info@konbukuroike.com ホームページ: http://www.konbukuroike.com</p>
<p>目的</p>	<p>こんぶくろ池自然博物公園内には、多様な動植物が生息・生育している。キノコの観察会を通じて自然豊かな公園を知ってもらうとともに、森林保全活動の大切さを伝える。</p>
<p>日時</p>	<p>2019年10月20日(日) 10:00～12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>《概要》キノコ観察会は、湿地環境の“こんぶくろ池自然博物公園”内の園路周辺に見られるキノコを千葉菌類談話会の大作晃一講師とともに観察しながら散策。参加者が採集したキノコを散策後に分類し、講師から名前を覚えてもらったりキノコに関わる興味深い話を聞いたり、質疑応答を行う。</p> <p>《プログラム》 受付～キノコ採集用具配付～服装チェック～軍手等貸出し～代表者挨拶～観察スケジュール説明～講師紹介～事故防止対策（倒木、枯れ枝、スズメバチ等）～キノコクイズ～散策・キノコ採集～キノコ分類・同定～終了挨拶～アンケート記入～写真撮影～散会</p> <p>《ルート》キノコ観察会ルートは、当園内の散策路の一部を周回するとともに、特定区域内でキノコの採集。</p>
<p>参加対象</p>	<p>一般市民（小学生以下は保護者同伴）</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 40名 （大人20名、幼児7名、小学13名） 会員スタッフ 26名 （会員24名、講師1名、手伝い1名）</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>参加申込みが定数の2倍を超える人気のイベントになりました。今年20年目の節目でしたが、イベント開催前の2つの大きな台風により、こんぶくろ池の森は倒木、落枝等による被害を受け、荒れた森の中で直前まで整備に追われることになりました。</p> <p>当日は好天に恵まれ子ども達の元気な声と輝くひとみが印象的な観察会でした。5歳の女兒と2人で参加した母親は、「初めのうちはキノコに触ることを気持ち悪がっていましたが、周りにいた同年代の子が採集しているのを見て挑戦していました。」と話していました。</p>